



学校だより

桐里っ子HP版

須坂市立井上小学校

平成28年1月14日

文責：校長 宮坂

あけましておめでとうございます！まとめの3学期をむかえました。

2016年申年が明けました。今年もよろしくお祈りします。3学期の始業式では、1・3・5年のお友だちが「今年のめあて・3学期のめあて」を発表してくれました。1・3年はこれまで頑張ったことを振り返って決めためあてを決めていました。5年生はさすがに、3学期に6年生から様々なことを引き継ぐことについて決意を語っていました。

今本校では、集会の入退場を心落ち着けて静かに行おうと取り組んでいます。入場はとても落ちついてできるようになりました。退場も、高学年を中心に良くなってきています。3学期は「1年間の成長」を示す時期でもあります。期待しています。



始業式での校長講話の概略をお知らせします。

メッシのシュート成功率は26%—一流の努力家になろう！

素敵なめあてを発表してもらいました。でも、努力しても思い通りに行かないこともあります。それは、世界中のだれもが経験することです。落ち込んで、傷ついて、立ち上がれないと嘆く時もあるかもしれません。

さて、このひとは誰だか、知っている人いますか？そう、サッカー選手のメッシですね。クリスティアーノ・ロナウドと共に2000年代後半から現在にかけて世界最高のサッカー選手とされています。その世界最高のサッカー選手メッシのシュート成功率は統計によると26%だそうです。つまり、100本シュートを打ったら26本決めていくということです。でも、言い換えると世界のメッシでも70本以上失敗しているということです。

この人はだれだか知っていますか？そう、今はアメリカで活躍しているイチローです。ボールにバットを上手に当てるので、アメリカでは「魔法使い」のあだ名があるほどです。そのイチローの打率は最高で3割8分38%です。つまり100回チャンスがあったら38回ヒットを打っているということです。すごいね。でも言い換えると、世界のイチローだって60本はヒットにならないのです。失敗があるから、いろいろ工夫をするのですね。

この人は知っていますか？今回ノーベル賞というとても素晴らしい発明や発見をした人に贈られる賞を受賞した大村智さんです。毎年3億人以上の世界中の人を病気から救っています。その大村さんは受賞が決まった時のインタビューでこんなことを言っています。「自分は人の2倍も3倍も失敗している。失敗を繰り返しても やりたいことをやりなさい」「人のまねをしたら、それを越えることはできない。私は学生時代から人まねはしなかった」。

世の中を変え、世の中の人を支えるのは、こういう挑戦する気持ちとやりぬく気持ちのなのです。私は、皆さんの希望が叶うことを心から願っています。同時に、それに必要な失敗や負けにめげない心を持つことも願っています。そのような強い心をもつにはどうしたらよいでしょうか。それには「努力している自分」を信じることです。努力は人を裏切らない。たとえ希望通りにならなくても、努力が無駄におわることはありません。必ず違う形で報われるからです。ですから、まずは「一流の努力家」になりましょう。私には皆さんの素敵な未来が見えます。

2月は今年度最後の参観日があります。是非学校へお出かけ下さい。地域の皆様も、どうぞ！